

(別紙1)

第5学年海組 社会科学習指導案

11月5日(水) 5校時

指導者 山田 省吾

1 単元名「わたしたちの生活と工業生産」(東京書籍)

2 単元について

小学校学習指導要領解説編の「改善の具体的事項」では、「考えたことを自分の言葉でまとめ伝えることによりお互いの考えを深めていく学習などの言語活動の充実を図ること」を求めている。つまり、思考力・判断力・表現力を育成するために、問題解決的な学習や言語活動の充実を図ることが必要とされているのである。また、第5学年の目標は、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てることに重点が置かれている。

本単元では、我が国の工業生産について、工業地域・工業地帯の分布、工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きについて調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べることを通して、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすることがねらいである。その際、我が国の工業生産と工業地域について進んで調べ、各種の工業生産や工業地域の分布や、工業を支える運輸などの働き、各種の工業生産がすぐれた技術を開発・伝承しながら営まれていることを理解させる。また、我が国の工業生産における原材料や製品の貿易の様子に関心をもって調べることで、工業生産や国民生活を支える我が国の貿易の特色や役割も理解できるようにする。

本学級の児童は、社会科の学習が好きでとても意欲的に取り組んでいる。また、学習問題に対しての答えを、既習の知識や既習の経験を根拠にして予想を立て、児童同士で話し合うことで考えを共有することができる。しかし、線グラフなどの資料から読み取ったことを根拠として、社会的事象がなぜ起こったのかということやその社会的事象が起こった意味などを考えることができていない児童が多い。資料を読み取る際にどこに注目して見ればよいか分からないことが原因と考えられる。また、北中校区の実態として、資料などから分かることをまとめて結論を出していくことに苦手意識を持つ子どもたちが多い。

指導にあたっては児童の生活に大きくかかわっている自動車について、児童の既習の知識や既習の経験と資料から読み取ったことを比較することで生まれる疑問点から単元を貫く学習問題を作っていく。そうすることで児童一人一人に問題意識を持たせ、主体的に問題解決ができるようにする。さらに、一人一人が問題に対して自分の考えをまとめ、話し合う場面を設けることで思考力・表現力・判断力が身に着くようにしていく。また、資料を読み取ることが苦手な児童に対してICTを活用することで資料を読み取る上で注目させたい部分を拡大したり、色を付けたりすることで視覚的に支援ができるようにする。

3 単元目標

本単元では、我が国の主要な工業生産品である自動車産業について調べることを通して、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業地域の分布について理解できるようにする。また、自動車に関する原材料などの貿易について調べることを通して、工業生産や国民生活を支える我が国の貿易の特色や役割を理解できるようにする。

4 評価規準

①社会的事象への 関心・意欲・態度	②社会的な 思考・判断・表現	③観察・資料活用の 技能	④社会的事象につい ての知識・理解
<p>(ア) 我が国の工業生産の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。</p> <p>(イ) 我が国の工業生産の様子に関心をもち、意欲的に調べている。</p> <p>(ウ) 国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。</p>	<p>(ア) 我が国の工業生産の様子から学習問題を見いだして追究し、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。</p> <p>(イ) 我が国の工業生産の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p> <p>(ウ) 工業生産の様子と国民生活とを関連付けて、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え適切に表現している。</p>	<p>(ア) 我が国の工業生産の様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。</p> <p>(イ) 地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の工業生産の様子や様々な工業製品について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>(ウ) 調べたことを白地図や作品などにまとめている。</p>	<p>(ア) 我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。</p> <p>(イ) 様々な工業製品が国民生活を支えていることを理解している。</p> <p>(ウ) 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを理解している。</p> <p>(エ) 工業生産に従事している人々の努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解している。</p>

5 小単元構成 (全12時間/12時間目)

学習問題づくり (1時間) 【思考判断表現 (ア)】 【関心意欲態度 (ア)】

- 身近な工業製品ってどんなものがあるだろう。
- 日本の自動車は世界でどれくらい売れているのだろう。

学習問題

【なぜ日本の自動車は、世界の中でも人気が高いのだろう。】

学習計画を立てる (2時間) 【思考判断表現 (イ)】

- 問題を解決するために、どんなことを調べたらよいか。
- 問題を解決するために、どのような資料があるとよいだろう。
- 自分が考えた課題に対する仮説を立てよう。
- ・自動車を作っている人はどのような努力や工夫をしているかを調べたいです。そのために、実際に作っている人へインタビューするとよいと思います。米作りや漁の時に学習したように、自動車を作っている人も何人かで共同作業をしていると思います。

学習問題を解決するための追究 (6時間) 【知識理解 (ア) (イ) (エ)】

【関心意欲態度 (イ)】

(習得させる事項)

- 自動車産業に従事している人々は、効率よく正確につくるための工夫や努力を行って優れた製品を生産している。
- 消費者に注文された自動車は、船やトラックで世界中に運ばれ、輸送や生産にかかわる費用は、価格に含まれる。また海外での現地生産も行われている。
- 社会や消費者のニーズに応えるために資源の有効な利用や環境保全に取り組み、環境や人にやさしい車を開発している。

活用する (3時間) 【思考判断表現 (ウ)】

- ・日本の自動車産業を発展させるために、国内生産と現地生産のどちらを重視してくべきだろうか。(本時)

(習得させる事項)

- 自分の考えの根拠となる資料を収集し、まとめることができる。
- 既習事項や資料から分かったことを根拠にして、自分の考えを述べる。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

これからの日本の自動車産業について話し合うことを通して、日本の自動車産業に対する自分の考えを資料や既習事項を根拠にしてまとめことができる。

(2) 準備

・ I pad mini ・ 大型 TV ・ インタビュー結果

(3) 学習過程

学習活動	指導上の留意点 (・)、 評価 (★)
<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の自動車産業を発展させるために、国内生産と現地生産のどちらを重視してすべきだろうか。</p> </div> <p>2 話し合う。</p> <p>○今まで調べたことをもとにして話し合ひましょう。自分の立場と根拠をはっきりと言うようにしましょう。グラフなどを見せるときは、TV に写すので、グラフから分かったことを言うようにしてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(国内生産を重視)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本で作るからより安全な自動車ができるから。(既習の食料問題なども関連させて) ●日本にとって、自動車産業はなくてはならないので日本国内でつくるべきだ。(グラフを根拠に) ●部品などをすぐに手に入れることができるから、国内の方が作りやすいのではないか。 ●現地で作ってしまうと、国内の工場はいらなくなるので、仕事なくなる人が増える。(失業率のグラフ) </div>	<p>・ 前時までに自分が調べてきたことを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の自動車産業を発展させるために、国内生産と現地生産のどちらを重視してすべきだろうか。</p> </div> <p>・ 討論をすることで、お互いの意見の問題点を見出していく。</p> <p>・ 児童が調べてきたことは事前に撮影しておくことで、スムーズに TV 画面に写せるようにしておく。</p> <p>・ 注目してほしいところを拡大させるなどの工夫をして自分の意見を分かりやすく言えるように促す。</p> <p>・ 質問されたことに答えられそうにない場合は、あとで全員で考えてみることにして、次に進める。</p> <p>★調べたことを、相手に分かりやすく表現できている。 (発言、ノート)</p> <p>【思考・判断・表現 (ウ)】</p>

(国内生産を重視)

- 現地で作ると、人件費が抑えられてコストがかからなくなる。(人件費のグラフより)
- 現地の人の仕事が増えるから、世界にとってはうれしいことだと思うから。(グラフを根拠に)
- 日本で作って、海外で売るより、海外で作ってそのまま海外で売った方がコストがかからない。(グラフを根拠に)
- 前に、日本では売れなくなってきていると学習したので、海外で売った方が得だと思う。(既習事項から)

3 話し合いを通して出てきたよさや問題点を通して、これからの自動車産業で大切なことをまとめる。

○それぞれによいところと問題点がありましたね。これからの日本の自動車産業はどのようにしていくべきだろう。

- 海外と協力して作っていくべきだ。
- コストが下がるための工夫をすることが大切。
- 日本の優れた技術をもっと磨いていくことが重要になる。

4 本時の振り返りをする。

○友達の意見を聞いて深まったところや、変わったところを中心に書きましょう。

・意見が出にくい場合は、話し合いで出た問題点を解決していくことが大切だと伝える。

★これからの自動車産業で大切なことを、話し合いの結果からまとめて表現することができる。(発言、ノート)

【思考・判断・表現 (ウ)】